

地方公共団体名: 鹿児島県 薩摩川内市(甑島)

○提案内容

(1) 実現したい島のビジョン・方向性	
<p>甑島は、薩摩川内市の北西部約30Km沖、東シナ海に位置する離島です。薩摩川内市「第二次薩摩川内市総合計画(H27-R6)」では、「地域力」が奏でる”都市力”の創造を基本理念に掲げ、「安全・安心」「活力」「共生」「行財政」の4つの柱を基本理念に、様々な課題解決に正面から向き合い、未来を切り拓き、次世代に受け継ぐこととしています。</p> <p>甑島では、少子高齢化に伴う人口減少が最大の課題となっている中、観光産業を主軸とした地域振興を進めるため、甑島地域ツーリズムビジョンを策定し地域・各種団体・事業者・行政が一体となって取り組みを進めています。</p> <p>令和2年度には、念願であった甑島列島を一つにつなぐ、(仮称) 蘭牟田瀬戸架橋が完成予定であり、これを機に“甑はひとつ”のスローガンを実現し、行政施設の再配置を進め、甑島全体で行政・医療・防災体制を可能な限り維持しながら将来の甑島の振興発展や島民の一体感の醸成に取り組むこととしています。</p> <p>その中で、甑島で実現したいビジョン・方向性(将来の姿)は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光産業を主軸とした地域振興をはかるため、甑島ツーリズムビジョンを策定し、官民一体となって、自然や地域資源活用による交流人口の増加と付加価値の高い水産業等の推進による地域の活力の向上を目指しています。 ・令和2年度中の蘭牟田瀬戸架橋の完成で、甑島列島が一つにつながるにより、公共施設の集約再編等を進め、効率的で効果的な医療、福祉サービス等の提供を目指す。 ・離島航路や島内公共交通等の再編による島民及び観光客の利便性向上を図り、島内外の交流を促進し地域経済の拡大を図る。 ・情報通信環境の確保や低炭素・循環型の地域活動を支える次世代インフラの導入を図る。 	
(2) 新技術の導入により解決したい離島の課題	課題の分類
<p>■ 本土地域とオフグリッドである甑島の電力は、ディーゼル発電を主要電源としている。離島であるため燃料の輸送にコストがかかるほか、需給バランスをとるのが難しいために、よりコストがかかっている。電気代はユニバーサルサービスであるため、離島であっても本土地域と値段は同じであるが、電力会社の離島における赤字は顕著である。</p> <p>現在は電気事業法の規制により、本土地域と同じ料金での供給が電力会社に義務づけられているが、近年の電力自由化による規制緩和が進む中、今後の行く末は不透明な状況である。仮に規制が撤廃され、島内の電気料金が跳ね上がるようなことがあった場合、住民生活、事業活動に大きな影響を与えかねない。</p> <p>また、本土とオフグリッドである甑島は、原料の供給ができない等の想定外の非常事態に陥った場合、島内で発電することができず完全に電力の供給が停止してしまう事象が発生する等、エネルギーセキュリティも課題となっている。</p> <p>新技術や再生可能エネルギー、蓄電システムを軸にした地産地消型の新しいエネルギーシステムを再構築する必要がある。</p> <p>■ 甑島においては公共交通機能の脆弱化が顕著に表れており、住民の島内移動はマイカーに依存しているとともに、観光客においても二次交通手段がないことからレンタカーによる移動を余儀なくされている。これらの車両のほとんどはガソリン車であり、原油価格乱高下の影響は原料価格及び輸送のコスト両面から、経済的な負担が非常に大きいばかりか、環境面への影響も大きく、脱炭素社会へ向けた課題にもなっている。</p> <p>再生可能エネルギーの活用によるエネルギー源の多様化を図りながら、これらのエネルギー源を活用した公共交通機能を充実させる必要がある。</p>	<p>下記のうち、該当するものを○で囲んでください。</p> <p>交通・モビリティ</p> <p>エネルギー</p> <p>物流</p> <p>防災</p> <p>観光</p> <p>教育</p> <p>健康・医療</p> <p>環境</p> <p>産業</p> <p>担い手確保・人材育成</p> <p>その他</p>

(3) 新技術の導入による課題解決の方向性(イメージでも可)

■ 『地域エネルギー関連事業』を創出し、環境に配慮した持続的なまちづくりのモデルケースとなる。

<<例(イメージ)>>

- ・ 甑島国定公園であることを踏まえた再生可能エネルギー導入の可能性
- ・ 離島への再生可能エネルギー導入に向けたエネルギー構造転換(ディーゼル発電→再生可能エネルギー)
- ・ 地域主導による分散型エネルギーの導入
- ・ ESG関連投資の呼び込み

■ 島内交通の最適化による移動支援

<<例(イメージ)>>

- ・ EVと再生可能エネルギーの同時普及のためのインフラ構築
- ・ (仮称) 蘭牟田瀬戸架橋が繋ぐ甑島列島の観光・交通の一体化
- ・ エネルギーと観光資源を結び付け、ツーリズムビジョンと連動させる仕組みづくり
- ・ 利用者の目的に合わせた様々なモビリティ活用
- ・ 需要対応型交通による交通手段の創出
- ・ 地域の民間事業者や住民と連携した高効率な配車システムや決済システムの構築

(4) その他

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
商工観光部 次世代エネルギー課	井上 貴志	0996-23-5111 (内線5521)	t.inoue@city.satsumasendai.lg.jp